

Mコインテクノロジー



あなただけがあなたのデータを所有するに値し、それはプライバシーであり、他の誰も
所有しません

世界の高速で信頼性の高い分散型Mコインクラウドネットワークを構築することにより
、インターネット2.0の構築に取り組んでいます。

白書

-V1.32

2021年10月10日付け

索引

1	概要	3
2	業界分析と研究	4
3	Mコインネットワークとは	4
4	なぜMコインネットワーク	4-7
5	問題と解決策	7
6	Mコインビジョン&ミッション	8
7	市場の範囲と可能性	9
8	ロードマップ	9-10
9	Mコイン	10
10	Mコインの配布	10
11	Mコインセール詳細	11
12	結論	12

概要

M-Coin Techは、ブロックチェーンの進化と日常の人間の使用への橋渡しに取り組んでいます。当初、最初のストレージは、1971年に導入されたわずか80kbの容量の8インチフロッピーでした。ほぼ15年後、IBMが1.44MBのストレージを備えた3.5インチフロッピーを発表し、その後CDが登場し、その後、個人は追加のストレージに外付けハードドライブを使用しました。事実、データストレージの需要は絶えず増加しています。価格設定、データ転送速度、セキュリティ、プライバシーなど、適切なストレージソリューションを選択する際にも非常に重要な要素は他にもたくさんあります。

業界分析と研究

クラウドストレージ市場は2022年までに890億ドルに達すると推定されており、2017年の310億ドルから大幅に増加しています。クラウドストレージ市場の量と在庫が増えるにつれ、多くの企業や個人が安全、高速、低コストでデータにアクセスすることを好みます。-原価計算方法。ここで、分散ストレージが役立ちます。

M-コインテックストレージは、シャードに分割され、世界中の個々のストレージファーマーに分散される分散型クラウドストレージになります。これにより、世界中のすべてのデータストレージを同時にハッキングすることは不可能であるため、非常に高いセキュリティが保証されます。あなただけがあなたのデータにアクセスすることができます。

フェイスブックのケンブリッジアナリティカの大失敗は、サードパーティがクライアントのデータを誤って管理していることの最良の例です。ケンブリッジ大学のデータサイエンティストであるアレクサンドル・コーガンは、「これがあなたのデジタルライフです」というアプリを開発し、それをケンブリッジアナリティカに提供しました。次に、彼らはそれを使用して、学術研究の目的でフェイスブックユーザーを調査しました。ただし、フェイスブックkの設計により、アプリはユーザーの個人情報だけでなく、すべての接続も収集できるようになりました。このため、ケンブリッジアナリティカは、驚異的な8700万人のフェイスブックユーザーの個人データを入手することができました。そのうち7,060万人は米国からのユーザーでした。

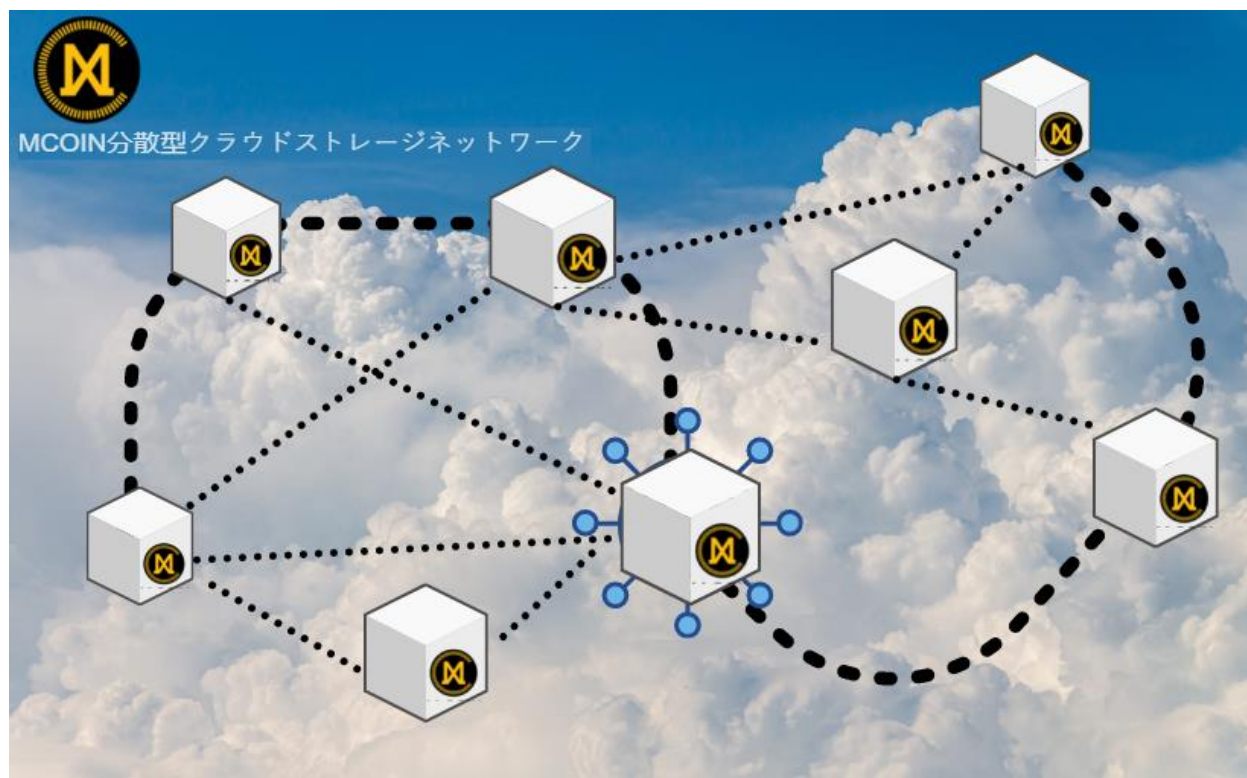
フェイスブックkによると、盗まれた情報には「公開プロフィール、ページのいいね、誕生日、現在の都市」が含まれていました。一部のユーザーは、ニュースフィード、タイムライン、メッセージへのアクセスを許可していました。彼らが最終的に得た

データは非常に詳細であったため、データの対象のサイコグラフィックプロファイルを作成することができました。作成されたプロファイルは、特定の場所にいる特定の人物をある政治イベントに説得するのにどのような種類の広告が最も役立つかを示唆するのに十分詳細でした。政治家は、データ侵害からの情報を使用してさまざまな政治的出来事に影響を与えるために、ケンブリッジアナリティカに多額の支払いをしました。

別の悪名高いケースでは、メディア分析会社「ディープルーツアナリティクス」が、アマゾンクラウドサーバーを使用して、パスワード保護なしで米国人口の61%もの情報をほぼ2週間保存しました。この情報には、名前、電子メールと自宅の住所、電話番号、投票者IDなどが含まれていました（blockgeeks.comからのソース）

私たちはあなたのデータがあなただけのものであると熱心に信じているので、これはM-CoinTechでは決して起こりません。他の誰もそれにアクセスするべきではありません。完全なプライバシーはあなたの特権です。

Mコインネットワークとは



なぜMコインネットワーク

一元化されたクラウドストレージでは、データはウェブ上の一元化された場所に保存されます。従来のクラウドストレージでは、データは場所、つまり「場所」によってのみ識別されるため、データの場所は簡単に公開されます。データの場所は、URLまたはウェブリンクによって示されるか識別されます。一元化されたクラウドに保存されているデータにアクセスするには、ウェブリンクを介してその場所を説明する必要があります。一元化されたクラウドストレージでデータの場所を公開することには、特定のリスクが伴います。

- ハッカーは、ユーザーのデータの場所を簡単に特定し、そのデータにアクセスして悪用する可能性があります。

- 一元化されたストレージでもデータが失われる傾向があり、ユーザーはストレージプロバイダーに依存しますが、データが特定の場所からシフトされると、そのウェブリンクはデータアクセスに対して無効になります。このため、ユーザーは予期しないデータ損失の状況に直面する可能性があります。

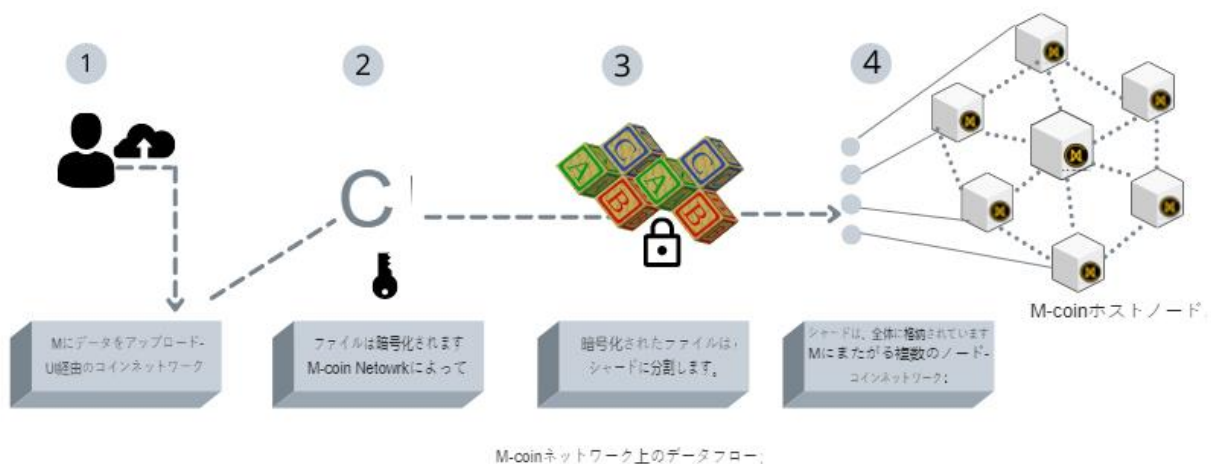
M-コインネットワーク分散型クラウドストレージは、データが実際には特定の場所に保存されていないため、場所の概念が無効になるソリューションです。グローバルネットワーク上に分散されます。

現在、データの場所を気にするアプローチは、コンテンツの価値にシフトしています。Mコインの分散型クラウドストレージでは、「どこにあるか」を定義してデータにアクセスするのではなく、「それが何であるか」を定義します。



マコイン |

分散型クラウドストレージネットワーク図



社会保障、銀行情報、支払い情報などの個人情報や個人情報は、「Cambridge Analytica Data Scam 2018」で知られるFacebookなどのクラウドサービスプロバイダーに保存する場合ではなく、コンピューターに保存の方が安全です。あなたのコンピューターではあなただけがあなたのデータを管理できるからです。ローカルマシンに物理的にアクセスできるようになるまで、またはアクセスできない限り、他の誰もあなたのプライバシーを侵害することはできません。ただし、データをローカルに保存するには、ストレージスペース、移植性、リモートロケーションからのアクセス可能性に関連する制限があります。

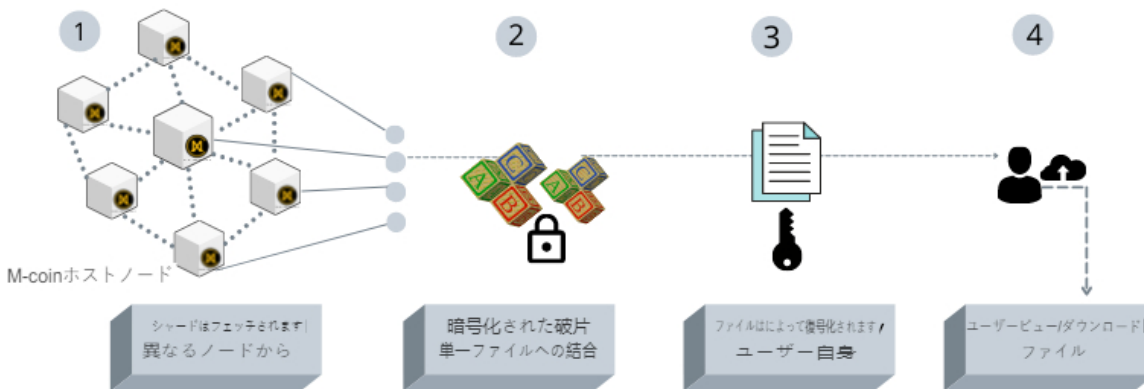
M-coin Network分散型クラウドストレージは、データを暗号化し、シャーディングしてから、世界中に広がるM-coin Networkの複数のホスティングプロバイダー（コンピューター/ノード）に分散します。簡単に言うと、ブロックチェーンテクノロジーを使用して、暗号化されたデータファイルを世界中の複数のホスト/ノードに保存し、データを保存して、必要に応じてどこからでもアクセスできるようにします。データのセキュリティは暗号化によって保証されます。暗号化されたデータの一部のみが複数の場所に保存され、誰もそれが何であることを確認できないことが保証されます。Mコインのホスト/ノードはデータを制御しません。完全に暗号化され、保存される前に細かく

分割されているため、検閲の対象ではなく、ハッキングすることもできません。私たちの不変のスマートコントラクトは、データを保持するホストの運用を管理し、契約に違反すると、スマートコントラクトの自動監査プロセスによってホストノードにペナルティが科せられます。



マコイン |

分散型クラウドストレージネットワーク図からのデータの取得



M-coinネットワーク上のファイルの取得

問題と解決策

インターネットの急速に成長しているテクノロジーの世界では、何十億ものユーザーがデータをホストするためにさまざまなサービスプロバイダーに依存しています。しかし、その見返りとして得られるのは、データ侵害、プライバシーの侵害であり、それでもホストに高額のコストを支払うことになります。

問題

一元化されたクラウドストレージの高コスト

ユーザーは、クラウドプロバイダーが従う従来の方法にお金を払うことになります。従来のクラウドストレージプロバイダーは、賃金、会計コスト、法定費用、管理負担、データセンターの賃料など、プロバイダーに余分な負担をかけるさまざまな目的のための人件費とコストを含む巨大なプロセスを設定する必要があります。私たちM-coinは、ユーザーがプロバイダーの古い方法のセットアップにお金を払う価値はないと信じています。

データ転送速度が遅い

クラウドストレージデータセンターは常にユーザーの近くに配置されているとは限らないため、データがエンドオーナーに到達する前にネットワーク上でデータが移動するのを遅らせます。または、ユーザーは常に自分のコンピュートースペースを使用してプロバイダーアプリ内のファイルを同期することになります。

データ侵害

2018年の「ケンブリッジアナリティカ」の最大のデータ漏えいを知らない人。ビッグテックプレーヤーのFacebookによって何百万もの公開データが侵害されました。 .

プライバシーが漏洩しやすい一元化されたストレージ

一元化されたクラウドストレージ。私たちのデータは、あなた以外の誰かが所有および運営する中央クラウドでホストされています。あなたのデータは彼らのものです。安全ではない場合もあります。

彼らがそれを主張するかもしれないとしても、それでもあなたは監視され、管理されています。彼らは、データを監視し、検閲し、第三者にデータを開示することができます。 .

Mコインネットワークソリューション

低ストレージコスト

M-coinネットワークは、データをホストする何百万ものノードがあり、利用可能なストレージの量が増えるグローバルクラウドストレージネットワークを構築しています。これにより、より持続可能なインフラストラクチャとコストの削減につながります。

公正な市場価格を推進する能力

データがMコインで報酬を獲得するプロセスに参加している複数のノードによって保存されていることを考えると、公正な市場価格が達成され、高品質のノードが競争に耐えることが保証されます。

より速い速度

従来のクライアントサーバーは、トラフィックがネットワークで処理できるよりも大きい場合、ネットワークのボトルネックになることがよくあります。P2Pテクノロジーを採用し、中央サーバーを排除することで、複数のコピーが異なるノードに保存されるため、データのコピーを増やすことができ、ダウンロード速度が向上します。

データのセキュリティとプライバシー

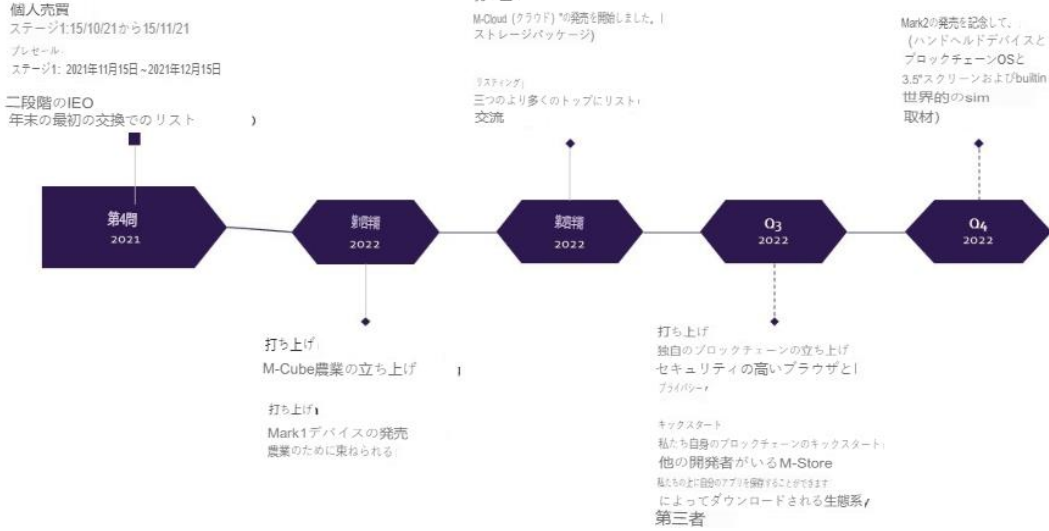
データは暗号化されてからシャーディングされてから、ストレージのホストノードに送信されます。データは断片に分割され、誰も（Mコインでさえも）表示できない暗号化されたファイルが、データストレージをめぐる競争するさまざまなホストに送信され、スマートコントラクト契約を確実に順守します。ホスト違反契約が開始され、契約違反に対する報酬は得られません。

ロードマップ



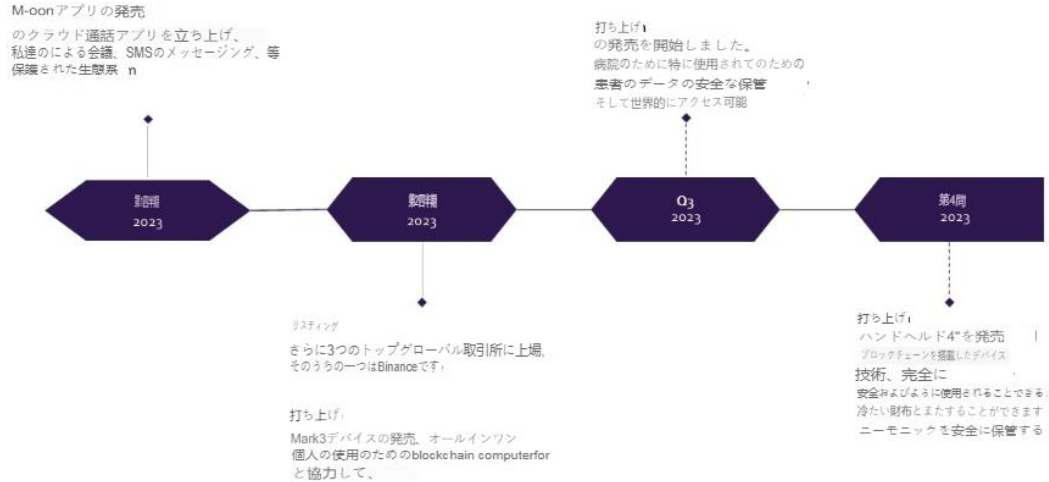
Mコイン

エムコインロードマップ



Mコイン

エムコインロードマップ



私たちのコイン

M-Coinは、Maximus Tech Solutionsによって発売された暗号コインであり、分散型クラウドストレージエコシステム内の基本ユーティリティコインとして機能します。

M-コイン

M-Coinは分散型クラウドネットワークに統合され、ユーザーまたは賃貸人がユーザーとホストのグローバルコミュニティ向けのオープンで持続可能な製品とサービスのエコシステムでサービスの料金を支払いながら、スペースを借りながらホストが稼ぐ機会を提供します。

Mコインは、時間とともに評判の高いグローバル暗号交換にリストされます。それは確かにMコインの価格に影響を与える需要と供給の必要性を推進します。

トークンの配布

さまざまな目的のためのMコインネットワークの詳細な分布を以下に示します。

トークンシンボル : Mコイン

タイプ : BEP20 (Binance Smart Chain)

初期値 : \$ 0.15

グラフ値:

プライベートセール、プレセール、IEO = 20%

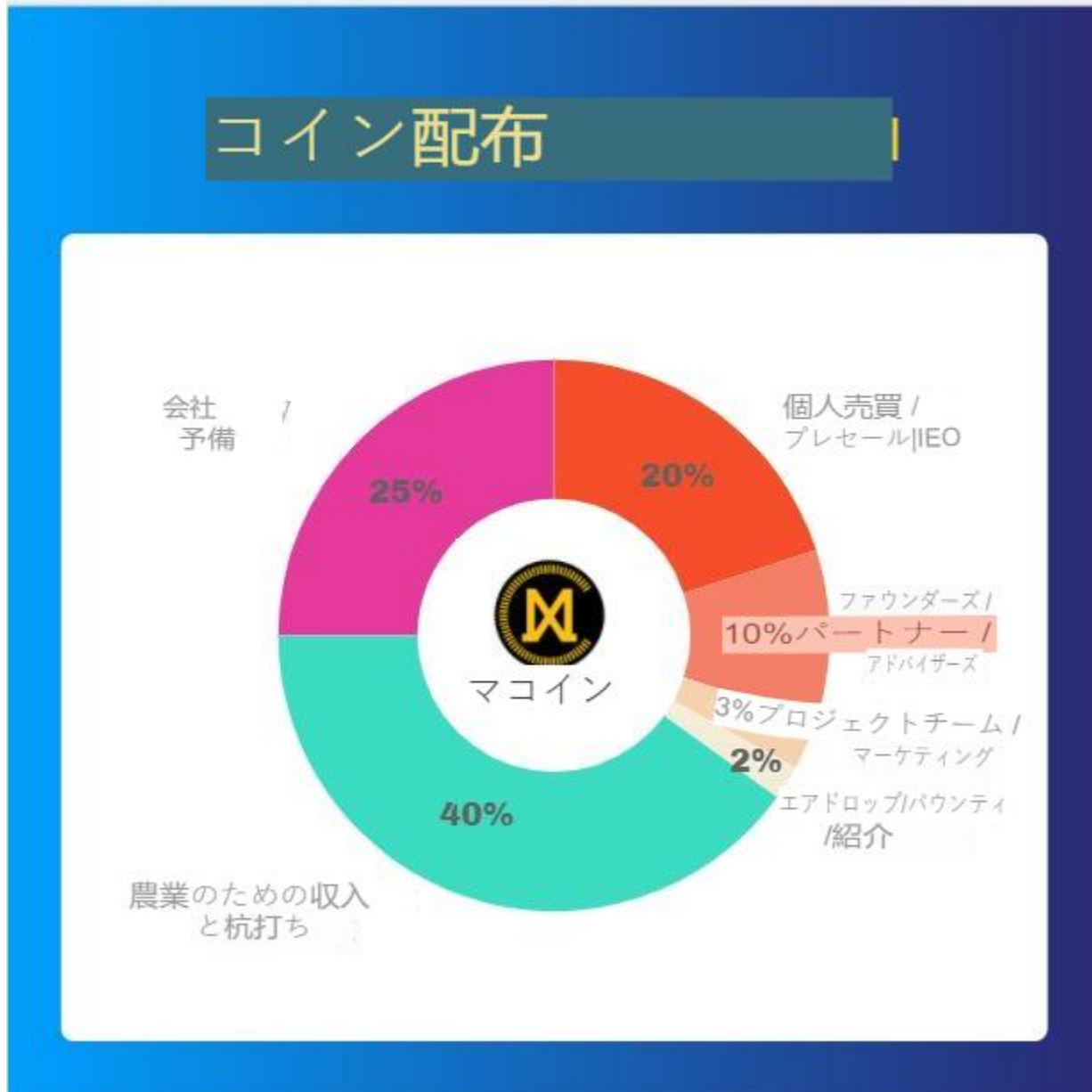
創設者、パートナー、アドバイザー = 10%

プロジェクトチームとマーケティング = 3%

景品、報奨金、紹介 = 2%

Mコインリザーブ= 25%

農業とステーキングの報酬の獲得= 40%



総供給量は15億Mコイン (15億Mコイン)

結論

M-Coin Tech Solutionsでは、最高のブロックチェーンテクノロジーを橋渡しし、データのセキュリティとプライバシーという2つのことを常に念頭に置いて、日常の使いやすさのために可能な限りユーザーフレンドリーにすることに専念しています。私たちはすべてを実現するためのチームと専門分野を持っており、コミュニティに最高のソリューションを提供できるように、常にチームを費やして最高の人材を採用することを目指しています。